

# 松葉屋通信

vol.30  
2014.11.25

長野は冬が長いから、家のなかでのおたのしみをたくさんもっていることが大切。  
冬のたのしみの基本はからだと心があたたまること。  
あったかいウールに包まれて、あったかい飲みものを用意して、あったかいカップで手のひらがあたたまったところで、ものづくりやものがたりの世界にはいりこむ。  
外はどんなにさむい冬の一日も、あっという間に過ぎていきます。



冬ごもりのたのしみ

## こぐまくんのハーモニカ

作：ジョン・セバスチャン  
絵：ガース・ウィリアムズ  
訳：三木卓  
発行：リブリオ出版  
(現在絶版の絵本です)



ガース・ウィリアムズの描く小動物のふわふわ感。背景のない分細かな毛並みのタッチがきわだって、ながめているだけで心が和みます。「だれだって自分の音楽をもっている。練習しているとその音楽が流れやすくなっていく。」お父さんのことばに、こぐまくんが自分の音楽を見つけるまでの心の冒険物語。(よしこ)



## 切ない夜は 抱きしめながら

春、夏、秋と出窓においてあったクマさんですが、冬を感じるこのごろは、寝床で一緒に毛布にくるまって眠ります。  
ドイツのケーセン社のシロクマ。

## ホームスピンのマフラー

十糸さんに教わりながら草木染め、手紡ぎの毛糸で私が1日半で織りあげた2本目のマフラー。微妙な色のちがいがとても美しいです。



## お気に入りのポットとカップで 入れるコーヒーの時間

濃いめにいれたコーヒーに、好みであたためた牛乳と砂糖をいれてカフェオレに。毎日つかう月兎印のホーローポットと大事にしている黒田泰蔵さんのカップ。



## 三びきのやぎのがらがらどん

ノルウェーの昔話  
絵：マーシャ・ブラウン  
訳：せたていじ  
発行：福音館書店

大きさのちがう3匹のやぎ「がらがらどん」。山の上へ草を食べに出かけるだけのお話なのに、ひとつひとつの場面を思い返して伝えなかったことを探りたくなります。ちょっとだけわかったのは「順番って大事な」ということ。(いけ)

## 『喫茶ヤマとカワ』の コーヒー豆

連絡しておくど、受けとりに行く前の日の晩に焙煎してくれるヤマとカワさん。焙煎したての豆でいれたコーヒーはとっても香り豊か。いつも幸せな時間をいただきます。



## ヤマネとみちろう

「さあ寝るよー」の時間。息子のみちろうが涙をながして泣いています。ねむくなるとわがママを言って、聞いてもらえないと泣く、いつものパターン。クスッとさせよう、とみちろうの枕にヤマネをおいておきました。泣きながら眠りに行ったみちろうを見に行くと、ヤマネはふとんにもぐりこんだみちろうの手の中に。かわいいふたり。



## フレデリック

作・絵：レオ・レオニ  
訳：谷川 俊太郎  
発行：好学社

みんなとちょっとだけちがうフレデリック。「ちょっとちがう」となかなか理解してもらえないことってありますね。でも、他の人とちがった見方をもっていると思わぬことで本領発揮！ということもよくあります。ちがっていても大丈夫。読み終わったあと、心がふわっと軽くなりました。(いけ)



## グロースターの仕たて屋

作・絵：ビアトリクス・ポター  
訳：いしいもこ  
発行：福音館書店

こどもたちがちいさい頃、TVで放送されたアニメーションを、何度も繰り返し見た懐かしい物語。グロースターの町に住む、まずしい仕立て屋に贈られた素晴らしいクリスマスプレゼント！ビアトリクス・ポターの美しい挿画にもうっとりします。(よしこ)

## ホームスピンのコースター

縦の糸はマリーゴールド、横の糸はよもぎ。マリーゴールドによもぎを1本1本ぐらしてゆっくりじっくり出来上がっていく、その時間がたのしい。ちょっと大きめのコースターにはまあいいスープカップをおこう。





## 家族でちいさなちいさなギャッベをつくる

家族みんなで思い思いにちいさなギャッベを織る。  
 たまにみんなで見せ合いっこして。  
 おしゃべりしながら楽しく、でもとっても真剣に  
 自分の世界をつくる大切な時間。



## 秋のギャッベ展でうまれたミニミニギャッベ

好きな色の糸を選んで、こんなに素敵な  
 ギャッベが織りあがりました。



## おばけリンゴ

作・ヤーノシュ  
 訳：やがわ すみこ  
 発行：福音館書店

願ったら叶うけれど、よくばってしまうと  
 大変! こどもの頃に、好きなお菓子を食  
 過ぎてお腹をこわしたことを思い出しました。  
 本当に欲しいものは欲しい分だけしておく  
 方が幸せは大きくなりますね。(いけ)



## スピンドルで 糸紡ぎ

右足で糸車を回しながら  
 左手の指先で糸をつまみ  
 右手の指先で原毛を伸ばしていく。  
 この3つの動作をいちどにやるのが糸紡ぎ。  
 自分の紡いだ糸で家族のためにマフラーを織るのが夢です。

## 私の紡いだ糸

ものすごく下手だけど、その分  
 味わいのある糸に。かぎ編みしたら  
 かわいい小物がつくれそう。



## ひときわ寒い夜には ヴァン・ショー

パリの人々はワインに季節のフルーツとスパイスの  
 好きなものを好きなだけ入れてホットワイン(ヴァ  
 ン・ショー)をつくります。  
 ちびちび飲んでいるうちにからだはポカポカ。  
 火にかけるから安いワインで十分。煮立ててアル  
 コールをとばせばお酒の苦手な人も飲めますよ。

### 白ワインのヴァン・ショーレシピ (2人分)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ・白ワイン…1/2本      | ・シナモンスティック…1本     |
| ・りんごジュース…1カップ   | ・クローブ…2本          |
| ・レモンうす切り…1/2コ   | ・カルダモンパウダー…小さじ1/2 |
| ・砂糖またはハチミツ…お好みで | ・しょうがすりおろし…小さじ1/2 |

### 【作り方】

- 1 すべて鍋にいれ中火にかける。
- 2 沸湯直前で火をとめる。
- 3 砂糖はお好みで。
- 4 グラスに注ぐ。

## おはなしアンデルセン

編著：与田準一・川崎大治・松谷みよ子  
 絵：いわさきちひろ  
 発行：童心社

こどもの頃、母が毎日  
 読んでくれた本にもいわ  
 さきちひろの絵がありま  
 した。可愛らしい小さな  
 お姫さまや、アヒルの子、  
 ナイチンゲールや雪の女  
 王、小鳥やいろんな種  
 類の花々。



鉛筆と水彩画で描かれたちひろさんの絵は、  
 アンデルセンの物語の悲しみや喜びを、より  
 鮮明に伝えてくれます。(よしこ)



あのコのために、  
あの人のために、  
じぶんのために  
冬の夜はくつ下を編む

手紡ぎの染めていない糸で、十糸さんが編んだ毛糸のくつ下。  
丈夫であたたか。お手入れもらくちんです。  
私もいつか編めるようになりたいな。



## ババールとサンタクロース

作：ジャン・ド・ブリュノフ  
訳：やがわすみこ  
発行：評論社

「ぞうの国にもサンタクロースに来てもらおう！」とぞうのババールがサンタクロースをお願いをするために長い長いひとり旅が始まります。出会う生き物や人、みんなの力をかりて突き進む、ババールの行動力にすっかりファンになってしまいました。(いけ)

## 休日はマサラチャイでからだの休息

マサラチャイはインドのスパイスいりのミルクティー、風邪のひきはじめにはしょうが汁を少し入れてあつあつをどうぞ。好きな本を読みながら。



### マサラチャイのレシピ (2人分)

- ・茶葉(アッサム) …小さじ2
- ・水…300cc
- ・クローブ…4コ
- ・シナモンスティック…1/2本
- ・カルダモンパウダー…小さじ1/2
- ・牛乳…250cc
- ・好みの砂糖…大さじ2

### 【作り方】

- 1 水が沸騰したら茶葉とクローブ・シナモンをいれ、弱火で3分。
- 2 カルダモンをいれてさらに弱火で1分。
- 3 牛乳・砂糖をいれ沸騰直前まで温めながらかき混ぜる。
- 4 茶漉して漉しながらカップに注ぐ。



## どっちがへん?スペシャル

作・絵：岩井俊雄  
発行：紀伊國屋書店

「どっちくん」と「へんくん」の描く絵を見比べてここがおかしい! こんなところがへん! 絵本をじーっと覗き込んでたくさんおしゃべりできる。楽しい笑い声が聞こえてきそうな絵本です。(いけ)

おうちのなかにあたたかな居場所をこしらえて  
身も心もあたたまる、小道具をあれこれそろえて  
どうぞ、あったかな冬をおすごしてください。



松葉屋に  
ふわふわの  
小動物が  
あつまります。

### 松葉屋通信 VOL.30

発行所：松葉屋家具店+くらし道具学研究所  
〒380-0841 長野市大門町45  
☎ 0120-55-2346  
FAX:026-237-4558  
since1833@matubaya-kagu.com  
[水曜定休]

編集：滝澤 佳子  
池田 奈美子

発行日：2014年11月25日

### 冬の香り

お届けした冬の香りはいかがでしたか?  
たなこころさんからの香りのメッセージです。



たなこころのある信濃町から見える黒姫山、妙高山の山頂は白く雪景色となり、朝の空気はシャキッと0℃位になってきました。いよいよ雪国の始まりのカウントダウン、という感じです。

今回の冬の香りはほっこり甘く奥深い香りとなりました。ベンゾインはエゴノキ科樹木の樹脂。安息香と呼ばれバニラに似た甘さと柔らかさが感じられ、イランイランはバンレイシ科の白い可憐な花からの精油。幸福感をもたらすエキゾチックな香りとも言われています。この2つの特徴ある甘みにセリ科の種子のクローブが加わり、スパイシーでシャキッとした香りが奥深さを増してくれています。日に日に寒さが厳しくなる季節、この香りを味わい、ほっこりと暖かい気持ちで穏やかに過ごせますように、という思いをこめて、...



たなこころ 松浦まき